

沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式

募金へのご協力に感謝 — 設置医療機関が倍増、
支援の輪が大きく広がる



会長 田名 毅

本会では、交通事故により親を亡くした子どもたちが健やかに、そして心豊かに成長していくためのサポートとして、長年にわたり「沖縄県交通遺児育成会」への支援活動を継続しております。本活動は、本会単独の取り組みではなく、沖縄県歯科医師会、沖縄県薬剤師会、沖縄県看護協会の4団体が緊密に連携し、職能の垣根を越えて取り組んでいる社会貢献事業です。その歩みは昭和61年にまで遡り、当初はチャリティー写真展としての開催でしたが、写真展終了後の平成12年度からは現在の「会員施設への募金箱設置」というスタイルに形を変え、地域に根ざした草の根の活動として定着してまいりました。

この度、令和7年度の募金活動の結果がまとまり、去る2月24日（火）に、4団体を代表して同育成会の中村一彦代表理事（琉球放送株式会社代表取締役社長）へ募金を贈呈いたしました。今年度で贈呈は37回目を数え、これまでの累計募金額は25,483,773円に達しております。特筆すべきは、今年度の協力体制の劇的な広がりです。令和7年度は、募金箱を設置いただいた医療機関数が132機関となり、前年度の64機関から実に68機関の大幅な増加となりました。この設置施設の拡大に伴い、寄せられた善意も大きく膨らみ、厳しい経済情勢の中ではありますが、会員の皆様の温かいご支援により、医療機関からの募金額は846,768円（前年度比468,030円増）、4団体合計では996,768円を寄付することができました。日々の診療でご多忙の中、本活動の趣旨にご賛同いただいた会員の皆様へ、心より厚く感謝申し上げます。

皆様からお預かりした貴重な募金は、同育成会を通じて、交通遺児の学業支援として返済不

要の奨学金給付事業等に充てられています。同育成会の報告によりますと、令和7年度は、奨学金・育成金の給付対象者に43人が認定され、支給総額は615万2千円にのびりました。突然の事故により生活環境が大きく変わった子どもたちが、進級や進学の機会を失うことなく夢を追い続けるための、大切な支えとなっております。「地域の医療機関」という、地域住民にとって身近で信頼の置ける場所に募金箱が設置されていること自体が、社会全体で子どもたちを支えるという力強いメッセージにも繋がっているものと感じております。また、同育成会からは、奨学金・育成金の給付対象者の中に医療分野へ進学した方がいるとの報告を受けております。本年度の給付対象者の中には、専門学校へ進学した方が2名、大学へ進学した方が3名と、合計5名が医療分野への進学を果たしており、着実に人材育成の成果が現れております。さらに、その後、実際に沖縄県内の医療機関へ就職し、現在の医療現場で活躍されているという大変喜ばしい報告もいただいております。

本会におきましては、子どもたちが未来へ向かって力強く歩めるよう、今後も交通遺児育成募金事業を継続してまいります。既に設置いただいている施設におかれましては、引き続きのご協力をお願い申し上げます。また、現時点で募金箱を設置されていない医療機関におかれましても、是非ともこの趣旨にご賛同いただき、設置について本会事務局へご連絡下さいますようお願い申し上げます。地域医療の担い手として、子どもたちの健やかな未来を守るため、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

沖縄県交通遺児育成募金贈呈式

日 時 令和8年2月24日(火) 午後1時
場 所 琉球放送会館

出席者 沖縄県医師会会長 田名 毅
 沖縄県歯科医師会会長 米須 敦子
 沖縄県薬剤師会専務理事 阿部 義則
 沖縄県看護協会会長 平良 孝美

募金額	沖縄県医師会	846,768 円
	沖縄県歯科医師会	50,000 円
	沖縄県薬剤師会	50,000 円
	沖縄県看護協会	50,000 円
合 計		996,768 円



左より、平良会長(看護協会)、米須会長(歯科医師会)、小生、中村代表理事(交通遺児育成会・琉球放送株式会社代表取締役社長)、阿部専務理事(薬剤師会)

お 知 ら せ

日本医師会定例記者会見に関する周知

日本医師会では原則、毎週水曜日に定例記者会見を開催し、松本会長始め常勤役員が日本医師会の考えや取り組みなどについて説明しています。
 その模様は下記の広報物に掲載していますので、ぜひご覧下さい。

■ 日本医師会公式
YouTube チャンネル



■ 日本医師会ホームページ
「日医 on-line」



問い合わせ先：日本医師会広報課 E-M:kouhou@po.med.or.jp

■ 沖縄県医師会公式
YouTube チャンネル



■ 沖縄県医師会ホームページ

